

避難所からの要請で 読経ボランティア

龍谷大学大学院・実践真宗学研究科

被災者支援の活動報告会開く



4月8日、宮城県南三陸町の避難所からの要請で行われた読経ボランティアの様子。手前左端が鍋島直樹教授

東日本大震災でボランティア活動に携わった龍谷大学大学院実践真宗学研究科の学生が4月25日、京都市下京区の同大学大宮学舎で活動報告会を開いた。

「被災された方の深い悲しみに寄り添い、亡くなつた方を悼み、いのちを見つめていく姿勢は真宗者が学ぶべき重要なこと」と、自らもボランティアに加わった鍋島直樹同大学教

授の特別講義として催された。一般公開され、200人が聴講した。報告者は大学院生の川端勝さん、岩田彰亮さん、西池深音さんと

東日本大震災でボランティア活動に携わった仙台市・称法寺（細川雅美住職）と仙台市宮城野区・専能寺（足利一之住職）の復旧支援と、避難所からの要請で遺体安置所での読経ボランティアなどを実行った。

川端さんは「単独でのボランティアだったが、見知らぬ人と手を携えての活動に、人と人がつながる大切さをあらためて学んだ」

と話し、岩田さんは住民の半数が行方不明となっている同県南三陸町の様子を「毎日、遺

骨氣が流れている。瓦礫の中に花束を供えに

来ていた女性に出会ったが、女性は顔を伏せ

て泣き続けていた。かみは計り知れないが、少しでも苦しみに寄り添う努力をしようと思

う」と語った。

西池さんと鍋島教授は同県の名取市、角田市、亘理町、仙台市、南三陸町を訪れた活動を報告。遺体が安置されている名取市のボウリング場や、角田市の鍋島直樹教授。4人は3月25日から4月10日にかけ、個別に活動。避難所への支援物資の搬送や炊き出し、津波で甚大な被害を受けた宮城県石巻市・称法寺（細川雅美住職）と仙台市宮城野区・専能寺（足利一之住職）の復旧支援と、避難所からの要請で遺体安置所での読経ボランティアなどを実行った。

鍋島教授は「遺体が並んで高校で行った読経ボランティアについて鍋島

教授は「遺体が並んでいる光景に言葉を失つた。日々遺体と向き合った。日々遺体と向き合う警官や遺体を捜索する自衛隊員の方々の

社会福祉法人「中央共生基金会」に届けた。

学生、教職員、卒業生、保護者から寄せられたもので、今後も継続して募金活動を行っていく。同大学では「学生ボランティアの派遣や募金活動などで被災地・被災者支援を続けていきたい」と話している。

龍谷大学（赤松徹真学長）は4月22日、東日本大震災の義援金1678万4659円を

社会福祉法人「中央共生基金会」に届けた。同大学では「学生ボランティアの派遣や募金活動などで被災地・被災者支援を続けていきたい」と話している。学生、教職員、卒業生、保護者から寄せられたもので、今後も継続して募金活動を行っていく。同大学では「学生ボランティアの派遣や募金活動などで被災地・被災者支援を続けていきたい」と話している。

西池さんと鍋島教授は同県の名取市、角田市、亘理町、仙台市、南三陸町を訪れた活動を報告。遺体が安置されている名取市のボウ

リング場や、角田市の鍋島直樹教授。4人は3月25日から4月10日にかけ、個別に活動。避難

所への支援物資の搬送や炊き出し、津波で甚

大な被害を受けた宮城県石巻市・称法寺（細川雅美住職）と仙台市宮城野区・専能寺（足利一之住職）の復旧支

援と、避難所からの要請で遺体安置所での読

経ボランティアなどを実行った。

川端さんは「単独でのボランティアだったが、見知らぬ人と手を

携えての活動に、人と人がつながる大切さ

をあらためて学んだ」

と話し、岩田さんは住民の半数が行方不明となっている同県南三陸町の様子を「毎日、遺

骨氣が流れている。瓦礫の中に花束を供えに

来ていた女性に出会ったが、女性は顔を伏せ

て泣き続けていた。かみは計り知れないが、少しでも苦しみに寄り添う努力をしようと思

う」と語った。

西池さんと鍋島教授は同県の名取市、角田市、亘理町、仙台市、南三陸町を訪れた活動を報告。遺体が安置されている名取市のボウ

リング場や、角田市の鍋島直樹教授。4人は3月25日から4月10日にかけ、個別に活動。避難

所への支援物資の搬送や炊き出し、津波で甚

大な被害を受けた宮城県石巻市・称法寺（細川雅美住職）と仙台市宮城野区・専能寺（足利一之住職）の復旧支

援と、避難所からの要請で遺体安置所での読

経ボランティアなどを実行った。

川端さんは「単独でのボランティアだったが、見知らぬ人と手を

携えての活動に、人と人がつながる大切さ

をあらためて学んだ」

と話し、岩田さんは住民の半数が行方不明となっている同県南三陸町の様子を「毎日、遺

骨氣が流れている。瓦礫の中に花束を供えに

来ていた女性に出会ったが、女性は顔を伏せ

て泣き続けていた。かみは計り知れないが、少しでも苦しみに寄り添う努力をしようと思

う」と語った。

西池さんと鍋島教授は同県の名取市、角田市、亘理町、仙台市、南三陸町を訪れた活動を報告。遺体が安置されている名取市のボウ

リング場や、角田市の鍋島直樹教授。4人は3月25日から4月10日にかけ、個別に活動。避難

所への支援物資の搬送や炊き出し、津波で甚

大な被害を受けた宮城県石巻市・称法寺（細川雅美住職）と仙台市宮城野区・専能寺（足利一之住職）の復旧支

援と、避難所からの要請で遺体安置所での読

経ボランティアなどを実行った。

川端さんは「単独でのボランティアだったが、見知らぬ人と手を

携えての活動に、人と人がつながる大切さ

をあらためて学んだ」

西池さんと鍋島教授は同県の名取市、角田市、亘理町、仙台市、南三陸町を訪れた活動を報告。遺体が安置されている名取市のボウ

リング場や、角田市の鍋島直樹教授。4人は3月25日から4月10日にかけ、個別に活動。避難

所への支援物資の搬送や炊き出し、津波で甚

大な被害を受けた宮城県石巻市・称法寺（細川雅美住職）と仙台市宮城野区・専能寺（足利一之住職）の復旧支

援と、避難所からの要請で遺体安置所での読

経ボランティアなどを実行った。

西池さんと鍋島教授は同県の名取市、角田市、亘理町、仙台市、南三陸町を訪れた活動を報告。遺体が安置されている名取市のボウ

リング場や、角田市の鍋島直樹教授。4人は3月25日から4月10日にかけ、個別に活動。避難

所への支援物資の搬送や炊き出し、津波で甚

大な被害を受けた宮城県石巻市・称法寺（細川雅美住職）と仙台市宮城野区・専能寺（足利一之住職）の復旧支

援と、避難所からの要請で遺体安置所での読

経ボランティアなどを実行った。

西池さんと鍋島教授は同県の名取市、角田市、亘理町、仙台市、南三陸町を訪れた活動を報告。遺体が安置されている名取市のボウ

リング場や、角田市の鍋島直樹教授。4人は3月25日から4月10日にかけ、個別に活動。避難

所への支援物資の搬送や炊き出し、津波で甚

大な被害を受けた宮城県石巻市・称法寺（細川雅美住職）と仙台市宮城野区・専能寺（足利一之住職）の復旧支

援と、避難所からの要請で遺体安置所での読

経ボランティアなどを実行った。